

染症法に基づくカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の届出状況、2014年9月～2015年8月、病原微生物検出情報(IASR) 37:15-16. <http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/1729-source/drug-resistance/idsc/iasr-in/6184-kj4311.html>

- 1 荒川 宣親, 2015, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(carbapenem-resistant Enterobacteriaceae, CRE)等 新型多剤耐性菌のグローバル化と臨床的留意点, 日本化学療法学会雑誌 63:187-197.
<http://www.chemotherapy.or.jp/journal/jjc/06302/063020187.pdf>

(文責: 田邊)

2) 感染症別・週別患者報告状況

夏型感染症(咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナなど)や冬型感染症(インフルエンザ、感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)が知られている。主として、「1. 2015(平成27)年の総括」で記した疾患について、定点あたり報告数の最高値が報告された週や最高値を示した(表1)。

表1. 定点あたり報告数の最高値が報告された週や最高値(2015年)

大 阪 府				
	疾 患	定点あたり報告数の最高値が報告された週	定点あたり報告数の最高値	警報レベル開始基準値
1	インフルエンザ	2週(1月第2週)	28.83	30
2	手足口病	29週(7月第2週)	12.77	5
3	感染性胃腸炎	49週(11月第5週)	10.18	20
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22週(5月第4週)	6.62	8
5	RSウイルス感染症	49週(11月第5週)	4.05	未設定
6	マイコプラズマ肺炎	51週(12月第2週)	1.65	未設定
7	水痘	2週(1月第2週)	1.17	7
	突発性発しん	25週(6月第3週)	0.78	未設定

表2. 2015年と2014年における感染症発生動向比較(増:↑、減:↓)

2015年と2014年における感染症発生動向の増減を比較すると、2015年はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌感染症、手足口病、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎、急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎やマイコプラズマ肺炎が増加傾向を示している(表2)。また、トレンド解析から伝染性紅斑、流行性耳下腺炎やマイコプラズマ肺炎は4-5年ぶりの流行と考えられる

(文責: 小林)

疾患名	2015年	2014年
インフルエンザ ↓	53,678	95,872
RSウイルス感染症 ↑	10,596	8,574
咽頭結膜熱 ↓	4,640	5,825
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ↑	23,081	20,821
感染性胃腸炎	63,584	68,961
水痘 ↓	5,534	9,776
手足口病 ↑	27,500	2,239
伝染性紅斑 ↑	5,409	691
突発性発しん	5,491	5,541
百日咳	219	171
ヘルパンギーナ ↓	5,096	9,704
流行性耳下腺炎 ↑	3,761	1,721
小児科定点疾患 合計	154,911	134,024
急性出血性結膜炎 ↑	42	27
流行性角結膜炎 ↑	1,053	758
眼科定点疾患 合計	1,095	785
細菌性髄膜炎	16	20
無菌性髄膜炎 ↑	35	22
マイコプラズマ肺炎 ↑	640	135
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	9	12
感染性胃腸炎(ロタウイルス) ↑	293	229
基幹定点疾患 合計	993	418

3) 感染症別・ブロック別患者報告状況

大阪府内を11ブロックs(1. 豊能、2. 三島、3. 北河内、4. 中河内、5. 南河内、6. 堺市、7. 泉州、8. 大阪市北部、9. 大阪市西部、10. 大阪市東部、11. 大阪市南部)に分け、解析・評価した。年平均の定点あたり報告数から地域ブロックを評価した場合、上位8疾患のうち、南河内は5疾患(感染性胃腸炎、手足口病、RSウイルス感染症、突発性発しん、流行性耳下腺炎)で首位を占めている(表)。2014年においても南河内に多い傾向は同様である。

表. 感染症別・ブロック別患者報告状況(太字は最高ブロックと報告数)

感染性胃腸炎		インフルエンザ		手足口病		溶血性レンサ球菌咽頭炎	
豊能	4.9	豊能	2.79	豊能	1.81	豊能	2.21
三島	5.45	三島	2.45	三島	1.89	三島	1.01
北河内	7.57	北河内	3.48	北河内	3.5	北河内	2.23
中河内	8.83	中河内	2.9	中河内	3.16	中河内	2.64
南河内	9.18	南河内	4.74	南河内	4.23	南河内	3.04
堺市	3.02	堺市	2.96	堺市	1.73	堺市	2.14
泉州	7.84	泉州	3.2	泉州	3.1	泉州	2.42
大阪市北部	5.16	大阪市北部	3.81	大阪市北部	2.91	大阪市北部	1.76
大阪市西部	5.7	大阪市西部	6.11	大阪市西部	1.99	大阪市西部	1.69
大阪市東部	3.41	大阪市東部	2.99	大阪市東部	1.55	大阪市東部	1.78
大阪市南部	3.44	大阪市南部	2.36	大阪市南部	2.05	大阪市南部	2.51
大阪府内合計	6	府内合計	3.29	府内合計	2.6	府内合計	2.18

RSウイルス感染症		水痘		突発性発しん		流行性耳下腺炎	
豊能	0.78	豊能	0.42	豊能	0.44	豊能	0.1
三島	0.49	三島	0.56	三島	0.28	三島	0.1
北河内	1.12	北河内	0.52	北河内	0.63	北河内	0.25
中河内	1.22	中河内	0.64	中河内	0.73	中河内	0.69
南河内	1.68	南河内	0.62	南河内	0.76	南河内	0.79
堺市	0.62	堺市	0.39	堺市	0.28	堺市	0.13
泉州	0.97	泉州	0.42	泉州	0.6	泉州	0.22
大阪市北部	1.47	大阪市北部	0.88	大阪市北部	0.57	大阪市北部	0.5
大阪市西部	1.43	大阪市西部	0.69	大阪市西部	0.5	大阪市西部	0.63
大阪市東部	0.75	大阪市東部	0.35	大阪市東部	0.4	大阪市東部	0.09
大阪市南部	0.73	大阪市南部	0.46	大阪市南部	0.42	大阪市南部	0.66
大阪府内合計	1	府内合計	0.52	府内合計	0.52	府内合計	0.35

(文責：小林)